



コーヒー市場は12か月ぶりの高値を更新

2019年11月は12か月振りにICO複合指標価格が月間を通して100セント（米セント/ポンド、以下同様）を超えた。複合指標価格の月次平均は、2019/20コーヒー年度の世界需給が502,000袋の供給不足と予想される中、10.1%上昇して107.23セントである。2019年10月の世界のコーヒー輸出量は前年同月対比13.4%減少して899万袋だった。コーヒー栽培に不適な気象パターンや長引く国際価格の低迷など、さまざまな要因がすべての地域での輸出数量の減少を招いている。

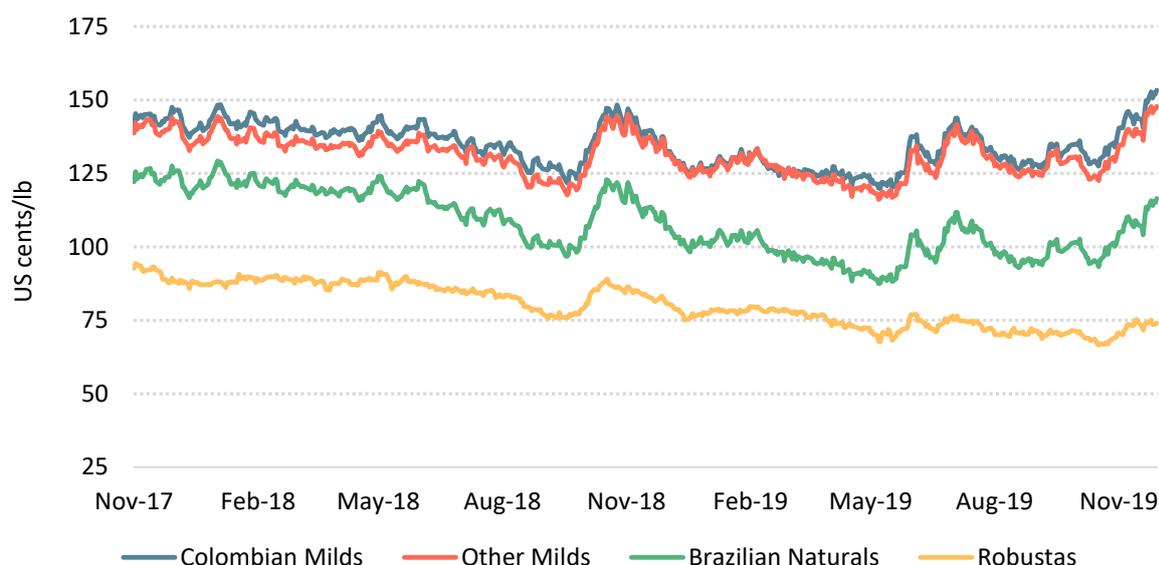
図 1: ICO複合指標価格



© 2019 International Coffee Organization (www.ico.org)

ICO複合指標価格は2019年11月に反発し、ブラジルレアルが米ドルに対して記録的な為替下落を生じたにも拘らず、12か月ぶりの高値に達した。ICO複合指標価格は、11月初旬の102.74セントから11月25日の111.86セントの高値まで上昇した後、111.77セントで11月を終えた。2019年10月中旬以降、ICO複合指標価格は上昇傾向にあり11月の月次平均107.23セントは前月対比で10.1%上げている。

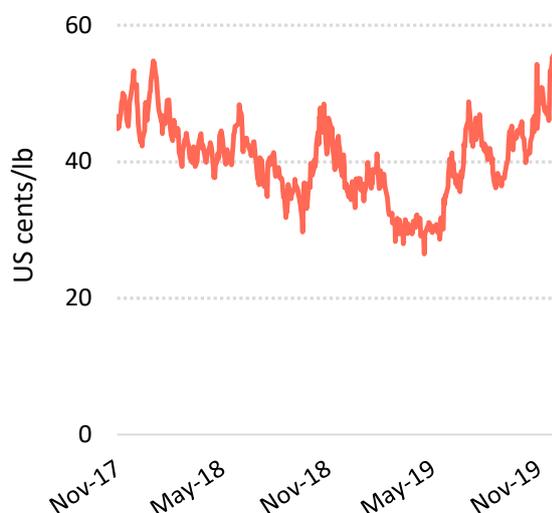
図 2: ICO グループ指標価格



© 2019 International Coffee Organization (www.ico.org)

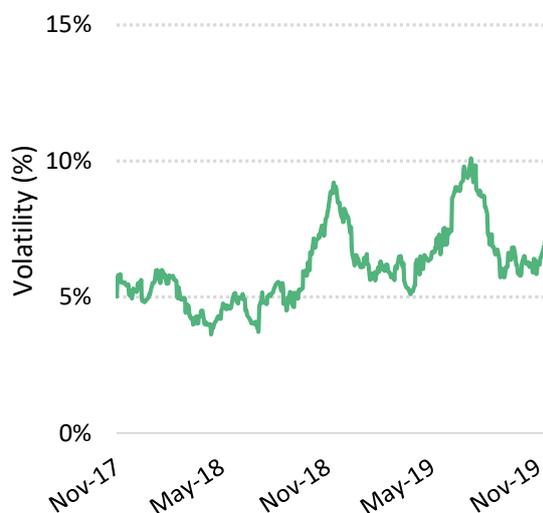
2019年11月は全てのグループ指標価格が上昇した。ブラジルナチュラルは裏年によるアラビカ生産の減少とブラジル通貨の下落を反映し12.1%上げの109.94セントを付けた。アザーマイルドは11%上げの140.98セント、一方、コロンビアマイルドは10.6%上げの146.12セントだった。コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は11月は拡大を続け、0.8%増の5.14セントとなった。ロブスタは前月比6.8%上昇して73.28セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ



© 2019 International Coffee Organization (www.ico.org)

図 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均価格変動率



© 2019 International Coffee Organization (www.ico.org)

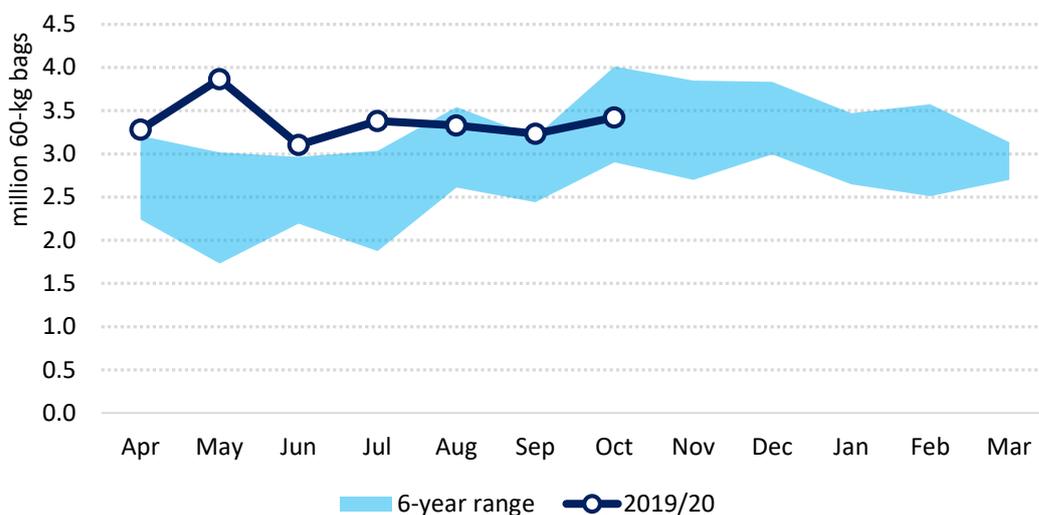
ニューヨークとロンドンの先物市場で測定したアラビカとロブスタのアービトラージは、**2017年1月以来の最高水準である50.31セントに急上昇した**。ニューヨーク先物市場は10.6%上昇し11月平均が113.31セントだった。これは認証在庫が2018年6月以来の最低水準まで減少したことによる。一方、ロンドン先物市場は8%上昇の63セントだった。

ICO複合指標価格のボラティリティは、この1か月で**0.9ポイント上昇して7.1%になった**。アラビカグループの指標の中で、コロンビアマイルドのボラティリティは最大1.2ポイント上昇して7.2%だったが、アザーマイルドおよびブラジルナチュラルのボラティリティはそれぞれ、0.8ポイント上昇の6.9%、1.1ポイント上昇の9.2%だった。ロブスタは10月～9月の収穫量とブラジルの2020/21年度収穫量の両方の不確実性から、ボラティリティは1%上昇して6.2%に達した。

2019年10月の世界のコーヒー輸出量は891万袋で、月次では2017年9月以降の最低だった。これは2018年10月との比較で13.4%、2017年10月との比較で2.4%の減少である。ロブスタの輸出量は21.6%減少し288万袋、アラビカは9%減少し968万袋だった。アザーマイルドが最大の減少で23.2%減の133万袋、ブラジルナチュラルは9.5%減の344万袋だった。逆に、コロンビアマイルドは2018年10月対比13.5%増の131万袋である。2019年を通じてコロンビアペソの対米ドル為替下落がコロンビアマイルドの輸出増加要因となっている。

南米の**2019年10月の輸出量は、ブラジルの342万袋を筆頭に528万袋に達した**。ブラジルは2019年10月の世界コーヒー輸出量の38.4%を占めるが、裏年に当たる2019/20年度の収穫量が減少していることから2018年10月との比較では12.9%減少している。2018年10月と比較して月次輸出量が減少しているにもかかわらず、ブラジルの2019/20クロープイヤー（4～3月）に於ける10月現在までの総輸出量は2,362万袋という記録的なレベルにある。これは2014年4月～10月に記録した2,204万袋を7.2%上回っている。

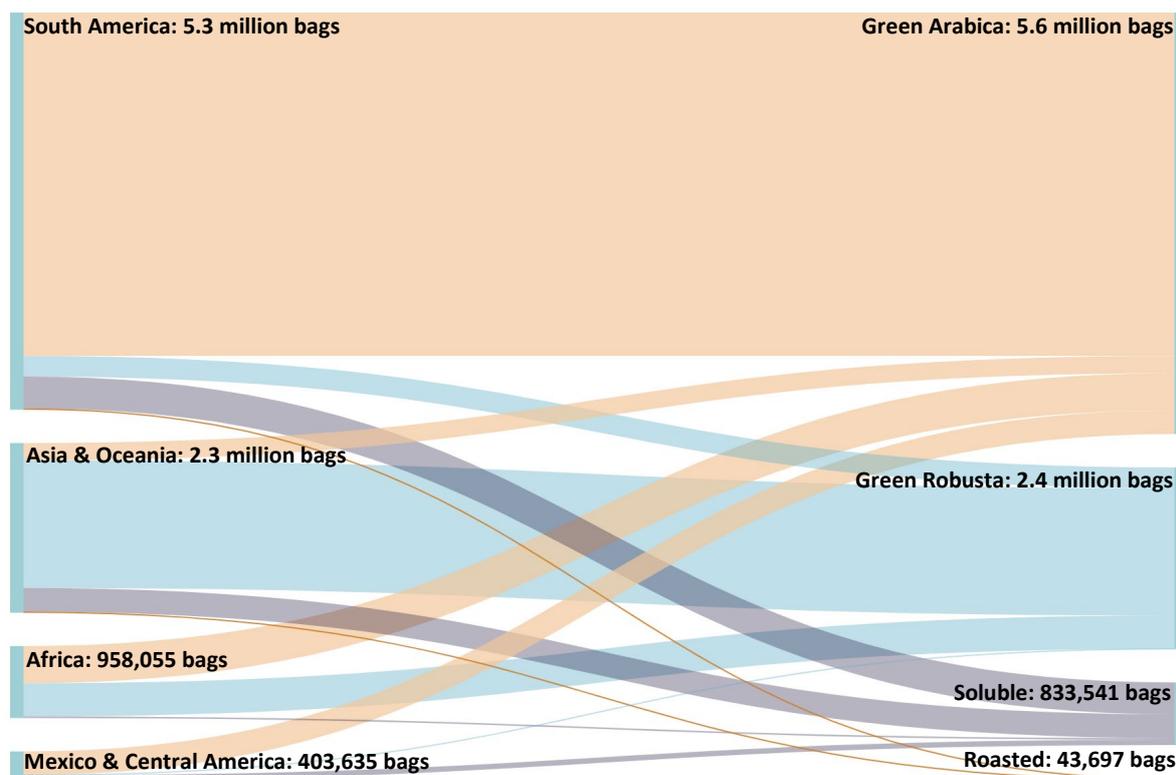
図5: ブラジル輸出量の月次推移



コロンビアの2019年10月の輸出量は121万袋で2018年同月対比13.9%増加している。コーヒー生豆の輸出は主産地の収穫開始により15.5%増加した。ソリュブルコーヒーの輸出は2018年10月対比9.2%減少しているが、年間累計672,791袋は過去2番目に大きい。コロンビアコーヒーの主要輸出先は引き続き米国で、2019年10月輸出量の44.8%を占め、次いでドイツが9.2%を占めている。

アジア・オセアニアの2019年10月の輸出量は23.5%減少し226万袋だった。この減少には、ベトナムの農産物開発省が10月の輸出量を145万袋程度と予測していたことも反映している。輸出の急激な減少の背景には、ベトナム国内のコーヒー取引価格が低いために農家が豆の販売を遅らせたという事情がある。インドでも輸出量は減少した。インドでは過去2年間、不安定な気象パターン、大雨、洪水の影響を受けている。加えて産地からの報告では今年の初めにcoffee white stem borer（コーヒー茎の穿孔虫）の被害が多発したことに起因する収穫量の減少があるとしている。インドの2019年10月の輸出は35万袋で前年同期対比2.5%減、2017年同期対比では22%減と推定されている。一方、インドネシアの輸出は、スマトラからの供給が厳しくなり2018/19コーヒー年度に減少したが、2019年10月は2倍以上の342,464袋だった。

図 6: 地域別／形態別の輸出量、October 2019



ウガンダの輸出量は**378,238袋**でアフリカ諸国の中で最も大きく、次いでエチオピアが続く。この地域の2019年10月の総輸出量は958,055袋である。2018年10月と比較すると、ウガンダのアラビカ輸出は30%減少して75,501袋、一方、ロブスタ輸出は24.6%増加して302,737袋だった。ウガンダのアラビカ輸出は2019年を通じて振るわず、年初からの10か月では2018年同期間と比較すると16.6%減少している。しかしながら、ロブスタの輸出増加がその減少を埋め合わせ全体では7.4%増加した。ウガンダコーヒー開発局は、この輸出量増加の要因として2019年が好天に恵まれ一期作二期作の両方が高収穫であったことを挙げている。

メキシコおよび中米の2019年10月の輸出量は**403,635袋**、前年10月対比**17.3%減少**で新コーヒー年度を開始した。地域の総輸出量は、コスタリカ、ホンジュラス、メキシコの輸出減少により低下している。ホンジュラスは中米最大のアラビカ生産国であり世界第4位のコーヒー生産国だが、10月の輸出量は25.8%減少し74,980袋だった。価格の下落に加えて、同国コーヒー生産が害虫や病気の発生率増加および9月の国家緊急事態宣言に至る干ばつの影響を受けたことが報告されている。また、コスタリカの輸出量は66.2%減の11,853袋で、1980年8月以来の最低の月間輸出量だった。最近のコーヒー葉さび病の発生により生産は低迷し輸出の停滞は2019年11月まで続くと言われている。

ICOは2019/20年度のコーヒー需給が**502,000袋程度**の僅少な供給不足を生じるとの暫定予測を示している。経済成長の鈍化にもかかわらず、コーヒー消費量は年度中に生産量を追い越すとの予測である。絶対的および相対的な観点から見た消費量増加の大半がアジアおよびオセアニアに生ずると予想される。生産面では、ブラジルの裏年によるアラビカ生産の減少、中米およびアジアの一部地域の悪天候が今後数週間にわたり国際コーヒー価格に影響を与える可能性がある。ただし、これら要因の影響は、ブラジルレアルの最近の為替下落とブラジルが来年は表年であることにより抑制される場合もある。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Nov-18	109.59	139.27	137.11	113.27	83.52	117.06	75.23
Dec-18	100.61	127.86	127.10	102.10	77.57	105.79	69.59
Jan-19	101.56	129.28	128.46	102.94	78.24	107.93	70.32
Feb-19	100.67	127.93	128.45	100.06	78.65	104.12	70.52
Mar-19	97.50	125.23	123.89	95.81	76.96	98.84	68.61
Apr-19	94.42	124.42	121.13	92.47	73.28	95.31	65.06
May-19	93.33	124.40	120.55	91.95	71.12	94.86	62.45
Jun-19	99.97	133.49	129.73	100.69	74.02	104.44	65.41
Jul-19	103.01	137.63	135.47	105.43	73.93	109.01	64.83
Aug-19	96.07	129.20	126.23	95.85	70.78	99.87	60.90
Sep-19	97.74	131.90	128.89	98.73	70.64	102.81	60.31
Oct-19	97.35	132.09	126.99	98.10	68.63	102.41	58.34
Nov-19	107.23	146.12	140.98	109.94	73.28	113.31	63.00
% change between Oct-19 and Nov-19							
	10.1%	10.6%	11.0%	12.1%	6.8%	10.6%	8.0%
Volatility (%)							
Nov-19	7.1%	7.2%	6.9%	9.2%	6.2%	14.3%	7.3%
Oct-19	6.2%	6.0%	6.1%	8.1%	5.2%	8.6%	6.1%
Variation between Oct-19 and Nov-19							
	0.9	1.2	0.8	1.1	1.0	5.7	1.2

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Nov-18	2.16	26.00	55.75	23.84	53.59	29.75	41.83
Dec-18	0.76	25.76	50.29	25.00	49.53	24.53	36.20
Jan-19	0.82	26.34	51.04	25.52	50.22	24.70	37.61
Feb-19	-0.52	27.87	49.28	28.39	49.80	21.41	33.60
Mar-19	1.34	29.42	48.27	28.08	46.93	18.85	30.23
Apr-19	3.29	31.95	51.14	28.66	47.85	19.19	30.25
May-19	3.85	32.45	53.28	28.60	49.43	20.83	32.41
Jun-19	3.76	32.80	59.47	29.04	55.71	26.67	39.03
Jul-19	2.16	32.20	63.70	30.04	61.54	31.50	44.18
Aug-19	2.97	33.35	58.42	30.38	55.45	25.07	38.97
Sep-19	3.01	33.17	61.26	30.16	58.25	28.09	42.50
Oct-19	5.10	33.99	63.46	28.89	58.36	29.47	44.07
Nov-19	5.14	36.18	72.84	31.04	67.70	36.66	50.31
% change between Oct-19 and Nov-19							
	0.8%	6.4%	14.8%	7.4%	16.0%	24.4%	14.2%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2015	2016	2017	2018	2019*	% change 2018/19
PRODUCTION	154 996	158 625	160 376	169 001	167 399	-0.9%
Arabica	91 181	100 776	96 698	98 328	95 680	-2.7%
Robusta	63 815	57 849	63 678	70 673	71 718	1.5%
Africa	15 756	16 729	17 376	18 304	18 201	-0.6%
Asia & Oceania	49 484	45 652	46 608	48 662	49 577	1.9%
Mexico & Central America	17 106	20 322	21 725	21 345	21 544	0.9%
South America	72 651	75 921	74 667	80 691	78 078	-3.2%
CONSUMPTION	155 491	158 642	162 555	165 345	167 901	1.5%
Exporting countries	47 548	48 488	49 793	50 510	51 018	1.0%
Importing countries (Coffee Years)	107 943	110 154	112 763	114 835	116 882	1.8%
Africa	10 951	11 130	11 527	11 724	11 939	1.8%
Asia & Oceania	32 863	34 573	35 697	36 742	37 838	3.0%
Mexico & Central America	5 295	5 226	5 321	5 401	5 474	1.4%
Europe	52 147	52 045	53 148	53 896	54 542	1.2%
North America	28 934	29 559	29 941	30 454	30 965	1.7%
South America	25 299	26 111	26 922	27 128	27 141	0.1%
BALANCE	-495	-18	-2 179	3 657	-502	

In thousand 60-kg bags

*preliminary estimates

As the figures in this table are on a coffee year basis, these estimates will vary from the figures published in Table 1 of Coffee Production Report (<http://www.ico.org/prices/po-production.pdf>), which contains crop year data. For further details, see the explanatory note at the end of this report.

表 4: 輸出国の総輸出量

	Oct-18	Oct-19	% change	November - October		
				2017/18	2018/19	% change
TOTAL	10 290	8 907	-13.4%	120 904	129 550	7.2%
Arabicas	6 686	6 083	-9.0%	76 506	83 835	9.6%
Colombian Milds	1 154	1 310	13.5%	13 921	15 116	8.6%
Other Milds	1 729	1 329	-23.2%	28 012	26 855	-4.1%
Brazilian Naturals	3 804	3 444	-9.5%	34 573	41 864	21.1%
Robustas	3 603	2 824	-21.6%	44 398	45 715	3.0%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Nov-18	Dec-18	Jan-19	Feb-19	Mar-19	Apr-19	May-19	Jun-19	Jul-19	Aug-19	Sep-19	Oct-19	Nov-19
New York	2.79	2.80	2.82	2.83	2.84	2.81	2.73	2.70	2.70	2.66	2.60	2.55	2.42
London	1.77	1.88	2.08	2.01	1.97	1.98	2.11	2.18	2.47	2.60	2.62	2.69	2.64

In million 60-kg bags

表3に関する注釈

ICO事務局は毎年、加盟国から提出された統計情報を使用して、年間の生産、消費、貿易、在庫の推定と予測を提供している。理事会文書ICC120-16 para100に記載の通り、これらの統計は、メンバーから受け取った情報が不完全、遅延、または矛盾している場合、他のソースからのデータによって補足および補完する必要がある。事務局は非会員の需給バランス表を作成するために複数の情報源も考慮している。

事務局は、グローバルな需給バランスを見る際に、毎年10月1日に始まるコーヒー年度というマーケティング年度の使用している。コーヒー生産国は世界中のさまざまな地域にあり、様々な収穫年、つまり収穫から次の収穫までの様々な12か月間が存在する。現在事務局が使用している収穫年は、4月1日、7月1日、10月1日に開始するもので、一貫性を維持するため事務局は、各国の収穫月に応じて、生産データを収穫年度ベースからマーケティング年度ベースに変換している。グローバルなコーヒー需給と価格の両方をコーヒー年度をベースに使用することで、市場の状況分析が同一期間（年度）内に為されることが可能となる。

たとえば、2014/15コーヒー年度は2014年10月1日に始まり、2015年9月30日に終了する。ただし、4月1日から収穫期を迎える生産国の場合、収穫期の生産はコーヒー年度の2年にわたって行われる。ブラジルの2014/15収穫年は2014年4月1日に始まり2015年3月31日に終了するため、2014/15コーヒー年度の前半をカバーする。しかし、ブラジルの2015/16収穫年は2015年4月1日に始まり2016年3月31日に終了するため、2014/15コーヒー年度の後半をカバーすることになる。そこで、収穫年の生産を単一のコーヒー年度で取扱うために、事務局は2014年4月から3月の収穫年生産の一部と2015年4月から2015年3月の生産の一部を2014/15コーヒー年度生産に割り当てることになる。

コーヒー年度における生産量の推定値は各国別に作成されるが、これらは分析目的であり、一貫した合計の需給バランスを作成する目的で作成されていること、また、個々の生産国の国内での収穫年における生産を表すものではないことに留意されたい。